

リテール & ITリーダーシップフォーラム2022

# 小売業サプライチェーンの競合から協働へ

日 時 2022年11月8日(火) 会 場 東京會館 東京都千代田区丸の内  
3-2-1  
10:00~17:00 3階ローズ

日本小売業協会では、CIO研究会が企画した「リテール&ITリーダーシップフォーラム」を隔年で開催し、広く小売業の幹部の方々に、先進的なITを活用した新たな経営戦略と小売サービスを提案して参りました。

とりわけ、一昨年開催した前回のフォーラムでは、同研究会ステアリングコミッティが一年以上議論を重ねて取りまとめた「日本の小売業CEO、CIOへの提言書」を公表し、小売業のデジタルトランスフォーメーション(DX)の進むべき方向性について活発な議論が行われました。

現在の小売業は、コロナ禍や原材料の高騰など厳しい経営環境にあるなか、食品ロスやアパレルロス、そして物流危機などの社会課題への対応が求められています。そして、その有力な解決策のひとつとして、DXの重要性・必要性が認識されるようになってきましたが、日本のデジタル化は米国や中国に大きく遅れをとっているのが現状です。

本年のITフォーラムでは、「小売業サプライチェーンの競合から協働へ」をテーマに、小売業DXの先進事例に知見の深い方々からご講演をいただき、DXの重要性、そして小売業サプライチェーンの最適化についてご理解を深めていただき、各社のDX戦略立案に資することができれば幸いです。



日本小売業協会  
会長 野本 弘文



※会場はコロナ対策を実施し、定員の約6割200名の先着順受付。 ※Webでの同時配信も行います。

受講料（税込） 日本小売業協会会員 5,000円 後援団体会員 6,000円 一般 7,000円 ※昼食付

主 催 日本小売業協会

後 援 日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、日本スーパー・マーケット協会、全国スーパー・マーケット協会、日本専門店協会、日本フランチャイズチェーン協会、日本ボランタリーチェーン協会、日本ショッピングセンター協会、日本通信販売協会、日本販売士協会、東京販売士協会、日本商工会議所、東京商工会議所、GS1 Japan（順不同）

# 小売業サプライチェーンの競合から協働へ プログラム（講師紹介）

## 10:00~10:05 開会挨拶

日本小売業協会 会長／東急株式会社 代表取締役会長 野本 弘文

## 10:05~10:25

### 「リテール&ITリーダーシップフォーラム2022」開催にあたって

日本小売業協会 CIO研究会 コーディネーター  
株式会社野村総合研究所 シニアチーフストラテジスト 藤野 直明氏



## 第1部 小売業のDX戦略と今後について

### 10:25~11:10 講演1

#### 技術革新とDX戦略

フューチャー株式会社 代表取締役会長兼社長 グループCEO 金丸 恭文氏

コロナ禍とともに様々な社会課題が浮き彫りとなり、世界における日本経済のプレゼンス低下も指摘されるなか社会全体に変革が迫られています。未来を切り拓く鍵は、技術革新をベースとしたイノベーション、いわゆるDXです。小売業においても少子高齢化にともなう人材不足をはじめ生活者の価値観やライフスタイル、消費行動の変容などあらゆる変化に柔軟かつスピーディに対応することが求められています。この急速な変化の時代をチャンスと捉え、経営戦略とIT戦略、業務改革が三位一体となってイノベーションを起こしていくために、真的DXとは何かを示し、小売業が進むべき未来と可能性について講演します。



### 11:10~11:40 講演2

#### DXを加速するテクノロジーの潮流

日本マイクロソフト株式会社 エバンジェリスト・業務執行役員 西脇 資哲氏

インターネットの普及や人口動態の変化、またCOVID-19による急激なニューノーマルへのシフトなど、小売業を取り巻く環境の変化は、抗いがたく大きく、さらに速いものになっています。このような中で、近年は変化への対応とビジネス改革の重要性が語られ始め、その実現をテクノロジーでサポートするDXというテーマは、企業の存続をかけた喫緊の課題として強く認知されたといえます。

当セッションでは、DXを実現・加速するための最新テクノロジーをお伝えします。



### 11:40~12:25 講演3

#### カインズの「DXからCX」とサプライチェーンの取り組み 株式会社カインズ 代表取締役社長 CEO 高家 正行氏

1978年に日本型ホームセンターの草分けとして創業したカインズは、2007年のSPA（製造小売業）宣言による「第二の創業」を経て、2019年に中期経営計画「PROJECT KINDNESS」を策定して以来、「次のカインズを創る」ための企業変革「CX（Corporate Transformation）」を進めています。これは、いわば「第三の創業」ともいえる大きな改革です。

本講演では、カインズで進める企業変革と、変革に向けた取り組みを支える戦略の重要な柱の1つであるデジタル戦略について、その要諦を解説すると共に、カインズにおけるサプライチェーンの取り組みについても紹介します。



12:25~13:15 昼食

### 16:10~17:00 パネルディスカッション

#### 小売業サプライチェーンの競合から協働へ

日本小売業協会  
CIO研究会 座長  
佐藤元彦氏



〈コーディネーター〉 日本小売業協会 CIO研究会 コーディネーター

株式会社野村総合研究所 シニアチーフストラテジスト

藤野 直明氏

〈パネリスト〉 日本小売業協会 CIO研究会 座長／株式会社丸井グループ 元副社長

佐藤 元彦氏

株式会社カスミ 代表取締役社長

山本慎一郎氏

株式会社トライアルホールディングス エグゼクティブ・アドバイザー

西川晋二氏

学習院大学 経済学部 教授

河合亞矢子氏

## 第2部 小売業のDXの実践と課題

### 13:15~13:45 講演4

#### Next DX：サプライチェーンをアップグレードするメタバース・デジタルツイン

デロイトトーマツ コンサルティング合同会社 執行役員 パートナー アジア太平洋地区 先端技術領域リーダー 森 正弥氏



「メタバース」という言葉が注目されています。インターネット上の仮想現実空間を使った新しい消費者サービスとして理解されることが多い用語ですがデジタルツインの実現を中心とした「インダストリアルメタバース」という活用も注目されています。本講演では、先進企業の事例を参照しつつ、メタバースの産業活用における論点を示します。そして、デジタルトランスフォーメーション（DX）がいかに進化するのか、それが既存のサプライチェーンの強化、可視化・効率化・柔軟性の実現にどのように役に立つかについて解説します。

### 13:45~14:30 講演5

#### ビジネスマーケットプレイス Amazonビジネスが加速するDX

アマゾンジャパン合同会社 Amazonビジネス事業本部 事業本部長 石橋 憲人氏



本をオンラインで売るところからスタートしたAmazonは現在、多岐にわたる事業領域でサービスを展開しています。2017年9月に日本で開始した法人向けのEコマース事業Amazonビジネスもその一つです。小売業をはじめ多店舗型事業で多くのお客様に利用されています。本セッションでは、どのようにAmazonビジネスがDXを加速してお客様の購買業務効率化、戦略的業務へのシフトを推進できるのか、事例を交えて紹介いたします。

### 14:30~15:15 講演6

#### サプライチェーンプラットフォームを使った製・配・販のロス削減に向けた取り組み

株式会社セブン＆アイ・ホールディングス 執行役員 グループDX推進本部長 兼  
グループDXソリューション本部長 兼 経営推進本部 DX推進担当シニアオフィサー 斎藤 正記氏



川上から川下まで一体となって取り組まなければサプライチェーン全体が抱える課題解決は困難な時代となりました。セブン＆アイ・ホールディングスでは事業会社の販売・在庫情報の集約・可視化を行うことで在庫最適化を図っています。現在はこの情報を取引先にも提供することで需給調整機能の向上による生産ロス削減や、需要予測に基づいて算出した発注量適正化によるフードロス削減など、会社の垣根を超えたロス削減に取り組もうとしています。本講演ではサプライチェーンプラットフォームの概要と取り組みの一部を紹介します。

15:15~15:25 休憩

### 15:25~16:10 講演7

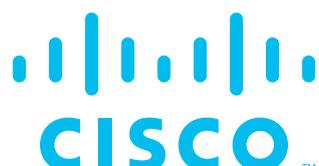
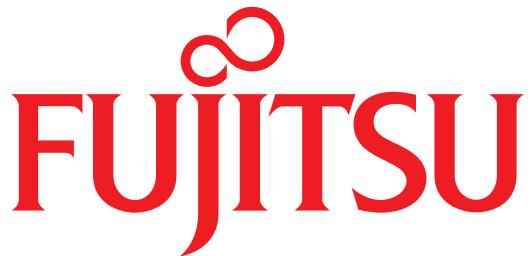
#### 壁を越えて連携する～競合から協働へ～

株式会社カスミ 代表取締役社長 兼 ユナイテッド・スーパー

マーケット・ホールディングス株式会社 代表取締役副社長 山本 慎一郎氏



組織の内部にも組織と組織の間に壁があります。壁を越えるために時間とコストがかかるだけではなく、壁を越えるたびに情報の精度が低くなります。情報を正確かつ迅速に伝達・共有するためにはこの壁を越えた連携が必要になります。そして壁を越えるためには、新しい仕組みが必要であるのみならず、従前の仕事のやり方を改める必要があります。情報が壁を乗り越えたとき、これまでの仕事がどのように変化するのか？どのような新しい価値が創出されるのか、今こそレベルを上げた標準化が必要であり、そのためには何をなすべきかを考えます。



## 参加お申し込み方法

参加お申し込みは日本小売業協会WEBサイトから行ってください。下記のURLあるいはQRコードにアクセスしてください。

### 〈会場での受講をご希望の方〉

[https://japan-retail.or.jp/jra\\_activities/22\\_11\\_08/](https://japan-retail.or.jp/jra_activities/22_11_08/)



◆受講料（税込） 日本小売業協会会員 5,000円 後援団体会員 6,000円 一般 7,000円 ※昼食付  
お申し込み後、受付完了メールが送信され、別途、請求書（PDF）を添付のうえ受講用メールをお送りいたします。  
受講料は請求書に記載の銀行口座にお振り込み願います。

- コロナの感染状況により開催が見送られた場合には受講料を返金いたします。
- お客様のご都合によるキャンセルにつきましては、受講料の返金はいたしかねますので、代理の方の出席をお願いいたします。
- やむを得ない事情により、講師等のプログラムが変更になる場合がございます。その場合、返金はいたしませんので予めご了承ください。

◆定 員 200名（先着順） ※会場はコロナ対策をし、実際の定員の約6割200名で実施。

※会場では、DX関連の企業16社によるブースでの個別相談を設ける予定です。

### 〈Webでの受講をご希望の方〉

[https://japan-retail.or.jp/jra\\_activities/22\\_11\\_08\\_online/](https://japan-retail.or.jp/jra_activities/22_11_08_online/)



◆受講料 無料 ◆定 員 1,000名（先着順）

◆申込締切日：10月25日（火）※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

#### 【個人情報の取扱について】

お申し込みにあたりご入力いただいた個人情報につきましては、本フォーラムの申込受付および運営上の管理のために利用させていただきます。また、日本小売業協会および本フォーラムにご協賛いただく企業が主催する各種事業のご案内に利用させていただく場合がございます。予めご了承ください。

協賛企業：日本マイクロソフト、富士通、フューチャーアーキテクト、デロイトトーマツコンサルティング、東芝テック、ヴィンクス、パナソニックコネクト、SAPジャパン、SCSK北海道、NTT東日本、オープンリソース、カンリー、サイバーエージェント、セールスマニア・ジャパン、日本NCR、Lazuli、ソリマチ技研、ecbeing、日本オラクル、KPMGコンサルティング、シスコシステムズ、日本ヒューレット・パッカード、ダイヤモンド・リテイルメディア

【問合せ】日本小売業協会 ☎03-3283-7920 日本小売業協会サイト <https://www.japan-retail.or.jp/>

小売業が成長し続けるための  
「確かな情報」をもっと身近に！

DCS DIAMOND  
Chain Store  
o n l i n e

月額 **1,980** 円（税込）  
年額だと2か月分お得！19,800円（税込）

DCSオンラインプラス 検索

株式会社ダイヤモンド・リテイルメディア